

スーパーロボット大戦0

ネオニューンゴ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

人類が希望を持って宇宙に進出して決して少なくはない年月が流れた。人類は宇宙に生活圏を確立し様々な争いもあった。地球に住む人と宇宙に住む人は互いに憎しみ合い終わりのない闘争は一つの大きな時代の終焉を迎えようさせうとしていた。

そんなある日地球で事件は起きた。悪の天才科学者Drヘル機械獣による世界征服、地底より現れた勢力恐竜帝国の襲来、突如として現れた未知の生物擬態獣の出現。後に巨神戦役と呼ばれるこの戦いは鋼の戦士達の活躍により平和をもたらすも地球は疲弊してしまい宇宙との力関係が逆転しつつあった。

これにより一層深く地球と宇宙の間には大きな溝が出来てしまう。そんな中地球連邦軍は力を落としかつての厄災戦争をガンダムフレームの力で収めたとされるギャラルホルンが台頭してくる。しかし疲弊したその時を地底で息を潜め地上侵略を狙う勢力が黙っている筈もなく、そして地球外からも地球を狙う勢力も好機とばかりに動き始める。

そんな混迷を極める時代で戦いに疲れ地球から宇宙へ逃げるも戦いからは逃れられない先の大戦の英雄『ハザマ・カイト』先の大戦の英雄に強い憧れを抱き地球で未知の勢力に立ち向かう『シンドウ・ハツキ』二人の一度別れた運命が交差する時世界は新たな戦いの火蓋が切って落とされる。

参戦作品一覧

- ☆機動戦士Vガンダム（原作再現）
- ☆機動戦士クロスボーンガンダムゴースト（原作再現）
- ☆機動戦士ガンダム鉄血のオルフェンズ（原作再現）
- ☆忍者戦士飛影（微原作再現）
- ☆宇宙の騎士テツカマンブレード（原作再現）
- ☆革命神機ヴァルヴレイヴ（原作再現）
- ☆機甲戦記ドラグナー（微原作再現）
- ☆楽園追放（機体パイロットのみ）
- ☆神魂合体ゴードンナー（原作再現）
- ☆マジンガーZ（機体、パイロットのみ）
- ☆グレートマジンガー（機体、パイロット、敵勢力のみ）
- ☆UFOロボグレンダイザー（機体、パイロット、敵勢力のみ）
- ☆マジンカイザー（機体のみ）
- ☆チェンジゲッターロボG（機体、パイロット敵勢力のみ）
- ☆チェンジ真ゲッターロボ（原作漫画版）（機体のみ）
- ☆マシントロボクロノスの逆襲（機体、パイロットのみ）
- ☆ブレンパワード（原作再現）
- ☆蒼穹のファフナー（原作再現）

目次

設定＋注意書き？	1
宇宙編一話 ファーストミッション	7

設定十注意書き？

主人公設定

☆カイト・ハザマ（宇宙編主人公）

AGE21

フリーランスの傭兵、かつては正義感に溢れ地球を守るべく師子堂研究所により作り出されたスーパーロボット『エグゼシード』に乗り兜や流、鉄也と共に先の大戦を戦っていた。しかし度重なる戦いと仲間であった巴武蔵の死に疲れてしまいエグゼシードを降りて行方を眩ませてしまう。しかし一人の人間がこの混迷の時代を生き抜ける筈もなく結局フリーランスの傭兵として生きていく事を余儀なくされ戦いから逃れられない人生を送る。冷めた性格で事なかれ主義を演じているが大切な物を守る時、かつての正義感がいかなく発揮される。本作では宇宙編（リアル編）の主人公を務める。作者のイメージの容姿は閃の軌跡のクルト・ヴァンダールの髪の色を藍色にして肩の辺りまで髪を伸ばした感じ？

搭乗機体

『レイヴン』

カケルがモントーク商会の伝手で制作した機体。全体的に黒色、間接部は銀色があしらわれた機体。遠、中、近距離と満遍なくこなせる高機動型万能機体。決め手に欠ける武装が多いがカケルの腕でカバーしている。ただ『ノワール』を失うと非力なものでじやなくなる。シールドも特殊なバリアも持たない装甲も高い訳ではないがビームコーティングを施している。

イメージ的にはスパロボOGのガリルナガンをもつとメカメカしくした感じ？

基本武装

☆多機能型可変式突撃ライフル『ノワール』

大型の銃剣（作者は魔法戦記リリカルなのはForceのデバイスイメージ）ビーム主体。弾を垂れ流すアサルトモード、収束射撃の

ブラストモードを銃の形態変化とカートリッジの変更で行う。

☆合金製ブレード『デimon・ソード』

ノワールに装備された合金製のブレード。そのまんま。また脚部の底に小型のデimonが装備されている。(クロスボーンガンダムX1みたいな感じ)

☆小型拳銃『ベルセ』×2

腰部にマウントされている実弾式の小型の拳銃。

☆ハヅキ・シシドウ (地上編主人公)

AGE16

シシドウ研究所の所長レオン・シシドウの一人娘。活発で明るい性格で裏表がない。先の大戦ではパイロット訓練生として訓練に励んでいたが大事な戦いに間に合わずカイト一人に戦わせてしまった事を悔やんでいる。現在はシシドウ研究所のパイロットとして地球の平和を守るため奮闘している。未熟な面もしばしば見受けられる。格闘戦が得意だが射撃がへたっぴ。逆境に強い。容姿は想像にお任せ、作者はバンドリの紗綾のイメージ

☆ミレイ・ミツルギ

AGE16

元気枠ときたらクール枠、でも意外とお姉さん気質。シシドウ研究所に所属するパイロットの一人。総合力では一番秀でているものの想定外の事態には弱い。また動きがマニュアル染みている敵のエース級にあっさり動きを見切られ苦戦する姿も……普段はチームを引っ張るが逆境になるとハヅキが引っ張る感じ。ハヅキとはライバル兼親友な感じ。容姿はひんぬー、クール、青髪、これに当てはまるキャラを想像してくれ……くっ

☆クロノ・ワズ・サンドライト

AGE16

女の子だとおもった？残念男の子です。三人チームの黒一点、優しく内気な性格。日本に来た当初イジメを受けておりハヅキに助け

られ彼女の力になりたいと思ひシシドウ研究所のパイロットに志願する（つまりは……まあ……ね……）飲み込みが早く恐ろしいスピードで成長を見せる。欠点は慎重過ぎるのに詰めが甘い事。容姿は金髪碧眼のティルズオブエクシリアのジュードとか？

☆『レグルス』

シシドウレオンが開発した特機、名前の通りライオンをイメージして作られた機体。特徴としては胸部にライオンの頭部をあしらったパーツがある。赤と黄色を基本色としている。ハツキ・シシドウが搭乗する機体。飛行能力はないが地上戦において高い能力を発揮する。因に三人チームの機体の中で唯一の宇宙Bさん。

隠された機能があるらしいが果たして……？ハツキが成長した時にこの機体の真価が発揮されるだろう。

基本武装

☆『ネメア・ネイル』

両腕両足に装備された鉤爪、レグルスのメインウェポン。またアンカーとして射出する事も可能。

☆『ネメア・ミサイル』

脚部に各々三連ミサイルポットが装備されておりそこから射出する。本来ならば数少ないレグルスの貴重な遠距離対応武器なのがハツキの技術不足のため精々中距離程度（ガンダムで言うビームライフル程度の距離）でしか使えない。

☆『ネメア・バルカン』

肩に設置された近接用の射撃武器（ようはガンダムのバルカンが肩に来た）

☆『レグルス・ブラスタ』

胸部に設置されたライオンの口から高出力のエネルギーを発射する。いわゆる特機お約束の武装。

『ホルス』

シシドウレオンが開発した特機の一つで搭乗者はミレイ・ミツルギ。機動力に長けるが3機の中では一番装甲が薄いためシールドを腕部に装備している。特徴は胸部に鷹の頭部をあしらったパーツが

あり背中に可変式の翼がある。機体色は薄い緑と白が基本色。また飛行能力を三機の中で唯一擁する。隠された機能があるらしいが果たして……？ミレイが成長した時に真価を發揮する。

機体イメージはダンクーガノヴァのRダイガンが近いか……？

基本武装

☆『ホルアクティ・ブレイド』

翼をあしらった実体剣

☆『ホルアクティ・ミサイル』

レグルスとは違い5連装の小型ミサイル。

☆『ホルアクティ・カッター』

可変式の翼から小型の刃を射出する。

☆『ホルス・ブラスタター』

レグルスと同様の武装

☆『メガロドン』

シンドウレオンが開発した特機の一つで搭乗者はクロノ・ワズ・サンドライト。三機の中では最も装甲が厚く機動力が低い。射撃武装が豊富だが近接武装は貧弱。特徴は胸部に鮫の頭部を模したパーツと背中に設置された巨大なスクリューモジュール。さらにバリアフィールドを擁しておりMSやアンチボディで落とすのは骨が折れる。言わずもがな水中戦を得意としている。隠された機能があるらしいが果たして……？クロノが成長した時に真価を發揮する？

基本武装

☆『メガロ・ミサイル』

大型の誘導が強いミサイル、本領を發揮するのは水中戦。

☆『メガロ・ヘヴィランス』

この機体唯一の近距離武装。穂先が射出できる。(イメージはアビスガンダムのもつてるやつ)

☆『メガロ・ビット』

小型の鮫型のロボットが5基装備されている。射撃モードではマシンガン、近接モードでは噛みつき

『メガロドン・ブラスタター』

レグルス、ホルス同様の武装

その他登場人物・メカニック

レオン・シンドウ

日本にある特機研究所『師子堂研究所』の所長。兜十蔵の弟子であり、弓博士や早乙女博士と共に来たる脅威に備え特機の開発をしていた。先の大戦では『エグゼシード』を作り上げカイトと共に地球の平和を守るために尽力している。カイトが姿を消した事を気に病んでいる。しかしそんな彼を世界は休ませる事を許さず新たな敵に備え特機を開発する事を余儀なくされる。

『エグゼシード』

先の巨神戦役でカイト・ハザマが搭乗したスーパーロボット。カイトが行方を眩ませて以降この機体も行方が分からなくなっている……

注意書き的な？

☆基本的にオリキャラの容姿は読者様のご想像にお任せします。作者はなんとなくのイメージなので……きつと自分のイメージに合ったキャラクター像が読者様それぞれにあると思いますので、ミレイを除きなるべくオリキャラの容姿は書かないようにします。

☆参戦作品に関しては完全に作者の趣味と相性の良さそうな物で固まっています。またいわゆる異世界系(例に挙げるとレイアースやリユニイト)や設定や参戦作品の関係(コードギアスとか)は今回は参戦作品から外させて頂いています。何卒ご理解の方を宜しくお願い致します。ちなみに出したかった作品で唯一どちらでもない理由で外したのはエルガイムです。(ただでさえ設定上硬い鉄血のMSにビームコートを常備のポセイダル軍とか考えるだけでゾツとしません?)

☆機体パイロットのみ参戦に限りもしかしたら増やすかもしれません。

☆作者自身スパロボ知識やにわかな所があるのでなるべく矛盾や設定の崩壊、キャラの崩壊はしないようにしたいですが、変な所があつたらごめんなさい。

宇宙編一話 ファーストミッション

く日本・東京く

日本の中心である東京、この街は今地獄と化していた。世界征服をたくらむ悪の科学者Drヘル、地底よりはるかなる時を超え目覚めた恐竜帝国の連合、それに加え突如として現れた未知の生物擬態獣の進攻、それを食い止めるべく立ち上がった日本有するスーパードット軍団、三つ巴の戦い、スーパードット軍団はゲッターロボを失い圧倒的な劣勢に追い込まれていた。

Drヘル「フハハハハ、無様だな兜甲児、猿渡ゴウ、ハザマ・カイト！ 見ろ！ 東京は火の海に覆われ人々は我らに恐怖しているぞ！」
ゴール「フン、ゲッターロボが失われ戦力の減った貴様らなどこの無敵戦艦ダイの相手にならないわ！」

甲児「ち、ちくしょう！」

ゴオ「だが奴の言うとおりだ、このままでは……」

ミラ「ゴウ！ 情けない事いわないで！」

カイト「クソ、エグゼシード！ まだ行けるな！」

気力を振り絞るべく彼等は声を上げるも兜甲児の乗るマジンガーZ、猿渡ゴオ、ミラ・アツカーマンの乗るゴードンナーTDM、カイト・ハザマの乗るエグゼシードは少くないダメージを負っていた。ゴオ「くつこのままでは街が破壊しつくされる、甲児君はDrヘルを、カイト君はゴールを、俺は擬態獣をやる！ いいな！」

甲児「望むところだぜ！」

カイト「わかりました！」

《戦闘会話 兜甲児vsDrヘル》

甲児「Drヘル！ テメエの野望も俺とマジンガーZが打ち砕く！ 喰らえロケットパンチ！ アイアンカッター！」

《戦闘会話 ゴウ&ミラvsボス擬態獣》

ゴオ「擬態獣めこれ以上好きにはさせせん！ やるぞミラ！ これで決める！」

ミラ「ハート！」

ゴオ「ブレイカー！」

《戦闘会話 カイトvsゴール》

カイト「竜馬さん達がいなくても！このスーパーロボット、エグゼシードとハザマ・カイトが相手だ！ゴール！アルティメット・フレアアアアアア！」

三機による決死の攻撃、しかし撃墜出来たのはDrヘルに乗る飛行要塞グールのみであった。ゴードンナーとエグゼシードは大技を放ったためすぐには動けずそれを見逃してくれる敵ではない。

ミラ「！ゴオ危ない！ツインドライブモード解除！」

ゴウ「!?やめろ、ミラ！何をやる気だ！」

《戦闘会話 ボス擬態獣vsミラ》

ボス擬態獣「ギャオオオオオオ！」

ミラ「ゴオ……生きて……」

ボス擬態獣による反撃、それをいち早く察したミラはツインドライブモードを解除してゴオを守るべく自らを盾にした。だが非力なネオオクサーではボス擬態獣の攻撃に耐えるが出来ず撃墜されてしまう。

ゴオ「ミラアアアアア！クソ！マックスに続いてミラまで！俺はあ！」

甲児「ち、ちくしょうエネルギーが……危ないカイト！」

《戦闘会話 ゴールvsカイト》

ゴール「油断したなエグゼシード！くらえい！」

カイト「うわああああ！」

エグゼシードの攻撃で無敵戦艦ダイも砲身は破壊したもののその姿は健在、その巨体で突進を仕掛けエグゼシードは大きく吹き飛ばされる。パイロット保護機能により意識が飛ぶ事はなかったが機体へのダメージは計り知れなかった。

カイト「ミラさん……ちくしょう！何をやっているんだ俺は！なんてザマだ！」

ゴール「安心しろハザマ・カイト貴様もすぐに同じ所へと送ってや

る」

無敵戦艦ダイがエグゼシードに止めを刺すべく向かってくる、マジンガーZ、ゴードンナーとは距離があり絶体絶命であった。

武蔵「やらせはしねえ！ テメエらはゲッター線が大の苦手らしいな！ コイツをくらわしてやるぜ！」

甲児「む、武蔵!? 何をする気だ!? やめろ！」

武蔵「へへ、オイラのミスでゲットマシンを失っちゃったんだ！ 甲児！ リヨウと隼人、それからミチルさんによるしく伝えてくれ！ 見せてやるぜ！ 男巴武蔵の生き様をな！」

ゴール「な、何をする気だ!? やめろお！」

突如コマンドマシンに乗った武蔵がダイに特攻を仕掛ける、ゲッター線が天敵である彼等は為すすべもなく暴走し破壊された。巴武蔵という勇敢なる戦士を犠牲にして……

カイト「そ、そんな……武蔵さん……俺が……俺のせいだ！」

甲児「バカ野郎！ まだ擬態獣が生きてるんだぞ！ カイト！ 猿渡さんの所へ急げ！ 武蔵の死を無駄にするな！」

この戦闘の間にも擬態獣は進攻しており、ついに避難が完了していない地域にまで差し掛かっていた。満身創痕のゴードンナーは逃げ遅れた住民を乗せたヘリコプターを守るべく奮戦しているも手数が多く遂にヘリコプターは擬態獣の攻撃に当たってしまう。それによりヘリコプターのハッチが破壊され一人の少女が機体から投げたたされた。

ゴオ「間に合えええええええ！」

あわや転落する所だった少女をゴードンナーでキャッチする。だがあの状態で戦えないのは明白であった。

甲児「ナイスキャッチだぜ猿渡さん！ やるぞカイト！ ブレストフアイアー！」

カイト「これ以上犠牲はださせない！ アルティメットフレア！ いけえ！」

マジンガーZとエグゼシードの攻撃により擬態獣を退け後に『巨神戦役』と呼ばれる戦いは終結した。しかしこの戦いで心に大きなダ

メージを負った猿渡ゴオはロボット乗りを引退し一線から身を引いてしまう。さらには超古代文明ミケーネ帝国が現れ戦いで傷ついたマジンガーZとエグゼシードは懸命の反撃に出るがええなく撃退、絶体絶命のピンチにグレートマジンガーが現れ窮地を救う。しかしハザマ・カイトは仲間を死なせてしまった無力感に加え終わりの見えない戦いに心が折れてしまう。

く師子堂研究所く

レオン「どうしても行ってしまうのかい……？」

カイト「すみません……所長……俺にはもう……お世話になりました」

そう言つてカイトは肩からポストンバックを下げて研究所を後にする。後ろから聞こえてくる足音に気づかないふりをして。

ハツキ「ま、待って、待って下さい！カイトさん！私がんばりますから！いっぱい訓練して……今度こそ一緒に戦いますから！カイトさん……お願い……待って……」

後ろから少女の嗚咽が聞こえてくる、それを振り払うようにカイトは足を早めた。

く輸送船内く

『まもなく火星に到着します、お客様は今一度お忘れ物のないようご注意ください。』

カイト「ちっ……嫌な夢だった……まだ見るのか……」

あの日、師子堂研究所を去って以降俺は逃げるように宇宙へと上がった。多少の金は持っていたがそれもしばらくすると尽きてしまい路頭に迷った。結局俺にはロボット乗りという点でしか俺は金を稼げずフリーランスの傭兵になってしまった。

カイト（バカらしいよな……戦いから逃げるために宇宙に上がったのに、結局俺はまた戦っている）

だが今度は生きるために戦っているのだ、地球の平和を守るために戦っていた時とは幾分か気持ちも楽だった。これから向かう火星にも傭兵としての依頼を受けて向かっていた。火星、人類が宇宙に進出し、成功した成功例の一つ。テラフォーミングに成功し、地球とほぼ同様の環境になったが地球とは資源の差がありすぎ一部の人間を覗いて民衆は苦しい生活を強いられると聞く。各スペースコロニーが独自の生活圏を築く中最も地球の影響が及んでいる星。実質的な地球の植民地という見方が強い。

カイト「そんな訳だから独立運動が強まっていて、その中心人物であるクーデリア・藍那・バーンスタインの地球までの護衛が俺の今回の仕事……か、何で俺を指名してきたかは分からないが……まあクライアントに直接聞けばいいか」

間もなくしてカイトを乗せた輸送船は火星に到着する。少ない手荷物をまとめカイトは火星へと降り立つのであった。

カイト「待ち合わせ場所はCGS（クリュセ・ガード・セキュリティ）？ なんとたつて民間の警備会社なんか……とりあえず俺の機体『レイヴン』を受け取らないとな」

火星・CGS

クリュセ郊外にある民間警備会社『CGS』そのの隊員である彼等はMW（モビルワーカー）による訓練を終えて食事休憩を取っていた。オルガ「へっ今回も大活躍だったじゃねえかミカ！」

三日月「別に……普通でしょ」

シノ「流石ミカヅキ様は言うことが違うねえ、それより聞いたかよオルガ、今度の仕事はよおでつかくなりそうだけ」

オルガ「ああ……何でも革命の乙女様を地球に送り届けろっていう話だが……」

ユージン「やつぱりよお俺達にそんな大きい仕事を任せるっていう事は一軍の奴等も俺達を信用してきているって事だよな！この仕事で一軍の奴等を出し抜いて俺達が一軍って事も……」

現在CGS内ではこの話題で持ちきりだった。基本的に大きな仕事は一軍と呼ばれる所謂上の立場の人間が行い、二軍で使われる立場にある彼等『ヒューマンデブリ』蔑まれる彼等はろくな仕事回ってきた事がない。ユージンやシノのように今回の仕事に手放して喜んでいる隊員も少なくはない。しかしオルガは何か裏があるのでないかと考えていた。

オルガ(アトラの話じゃあ異星人の船が火星に来たらしい……今回の仕事が始まるまでに地下のアイツを何とか使えるようにしねえと……)

タカキ「オルガさん、参番隊を連れて社長室に来てってマルバさんが……」

三日月「タカキ……その傷……」

タカキ「あはは、ちょっとありまして……」

一軍の人間によって傷つけられたであろう痛々しい傷がタカキの頬に残っている。だが二軍の人間で体に傷を持たない者はいない。彼等は安く使える労働力と同時に一軍のストレスの捌け口でもあるのだから。

オルガ「それじゃあ行くぞ、ミカ、ビスケット、シノ、火星のお姫様とやらの顔を拝ませてもらおうじゃねえか」

CGS 社長室

いつ見てもこの小汚ない会社に似つかわしくない絢爛な装飾が施された部屋だ。マルバが私財を溜め込んでいるという噂は本当なの

だろう。その部屋で非常に絵になる赤い服を着た金髪の女性、彼女が今回の依頼主であるクーデリアその人だろうとオルガは確信を持つ。

オルガ「参番隊揃いました」

マルバ「来たか、クーデリアさんコイツらが貴女の護衛を担当する者です、とりあえず三日月！クーデリアさんを案内しろ」

クーデリア「よろしくお願いします三日月」

三日月「着いてきて」

クーデリアは握手を三日月に求めたが三日月はその手をとることなくマルバの命令通りクーデリアに施設を案内し始める。クーデリアは困惑と疑問を感じながらも黙って三日月に着いて行く事にした。

CGS内通路

三日月「ここが動力室、うちは自前のエイハブリアクターが……」

クーデリア「あの……あの！」

三日月「？」

施設を案内しながらずんずんと進んでいく三日月、懸命に呼び止めるクーデリアの声に足を止め後ろを振り返る。

クーデリア「握手をしましょう」

三日月「あー」

クーデリア「何故握手をしてくれないのです？私は貴方と対等になるかと……」

三日月「手、汚れてるから」

視線を泳がせながら自分の掌を見せる三日月、確かに三日月の掌には黒い油汚れが付着していた。こちらが気をつかっているつもりが逆に三日月に気をつかわれていた事に気付き赤面をするクーデリア。

三日月「でもそれってさ……俺達対等じゃないって事だよね」

クーデリア「！」

三日月の何気ない一言が胸に突き刺さる。彼女は三日月の言葉に返答出来ずたた立ち尽くす事しか出来なかった。しかしそんなクーデリアを現実に引き戻す事態が発生する。爆発音が響いたと同時にCGSが大きく揺れる。付き人のフミタン・アドモスが駆けつけこの事態の説明をする。正体不明の機体がこの一帯を襲撃している

と……

戦闘地帯の中央、ピンク色の折り鶴鶴のような形をした戦艦エルシヤンクがザ・ブーム軍による攻撃にさらされていた。

ジョウ「ちくしょう！ザ・ブームの奴等め、行くぞマイク、レニー！」

イルボラ「までジョウ！まだ姫様は戦闘の許可を出してはいないぞ！」

ジョウ「へっこのまま怯えてエルシヤンクが落とされるのを待ってろってのか？そんなのはゴメンだね」

イルボラ「貴様ア！」

ロミナ「待ちなさいイルボラ、ジョウ、出撃をお願いします」

ジョウ「言われるまでもねえや、出るぞ！」

〜戦闘開始〜

《戦闘会話 ジョウ初戦闘》

ジョウ「ちつてメエらの好き勝手にさせるかよ！いくぞ黒獅子！」

《戦闘会話 レニー初戦闘》

レニー「近くに民間の警備会社があるし巻き込む訳にはいかない！

いくわよ鳳雷鷹力を貸して！」

《戦闘会話 マイク初戦闘》

マイク「ああ、二人とも前に出過ぎだつて……とりあえずエル

シヤンクを守らなきゃ……やるぞお爆竜！」

—————

三機の活躍によりザ・ブーム軍の主力量産機『シャーマン』が数を減らす一方何故かザ・ブーム軍の攻撃はCGSの方にも広がっていた。必死に応戦するオルガ達ではあったがMWでは機動兵器の前には手も足も出さず防戦一方を強いられていた。

オルガ「何でこつちも狙つてきやがる……狙いはお姫さんか!？」

ユージン「やべえぞオルガ！三日月と明弘が粘つちやいるが……!？」

エイハブウェーブの反応!？ギヤラルホルンのMS『グレイズ』が来る

のか!？畜生！一軍の奴等何やつてるんだよ！」

ユージンの怒声がインカム越しに聴こえてくる。一軍の人間等と

うに逃げたであろう事をオルガは予想しつつもなんとか戦線を持たせるため思考を巡らせる。そこにメカニックである雪之丞から通信が入った。

雪之丞「オルガ、一通りの調整は済んだ、三日月をこっちに寄越せ」
オルガ「聞こえたな？ミカ！戻れ！（しかし……間に合うか？）」

突如とした謎の機動兵器による襲撃に加えギャラルホルンのM Sの増援、万事休すかと思われた矢先オルガのインカムに聞き覚えのない声の通信が入ってくる。

カイト「聞こえるか？俺は傭兵のカイト・ハザマ、この機体の名前は『レイヴン』だ、そちらにいるクーデリア嬢の護衛任務を受けた者だ、これよりそちらを援護する」

オルガ「ありがてえ！聞いたかお前ら！こっちの味方が来てくれたぞ！ミカが来るまで踏ん張れえ！」

—————

《戦闘会話 カイト初戦闘》

カイト「まさか戦闘が始まってるとはな……ギャラルホルンのグレイズに見たことのない機体達だが、ピンクの戦艦の方は味方か？いやとにかく戦闘を開始する……！」

《戦闘会話 ジョウvsグレイズ》

ジョウ「コイツらまで俺達を狙ってきやがる、まさかハザードの奴……！それにあの黒い鴉みたいな機体は……こっちに味方してくれんのか？」

—————

カイト「流石にギャラルホルンの機体は硬いな……ナノラミネートアーマーだったか……厄介だな」

ジョウ「シャーマンはやったがまだバンクスとギャラルホルンのM Sがいやがる」

レニー「まずいわね、マイク、砲撃を当てられる？」

マイク「無理だよレニー、うわあ来るよー」

決め手に欠けビームと実弾に対して高い防御力を誇るグレイズの前にカイトやジョウ達は攻めあぐねていた。少しずつ押し返され

ていき、痺れを切らしたジヨウが突撃をするが機体にダメージを負うだけで失敗に終わってしまう。

ジヨウ「ぐああっ」

レニー「ジヨウ！待ってて今……きやあッ」

マイク「くそ、この弾幕の中じゃ……アニキ！」

ジヨウ達が劣勢に立たされたときどこからともなく忍者を模したロボットが現れ攻撃を始める。その後ジヨウの黒獅子と合体し四足歩行の獣の姿となった。

一方CGSの方面では既にMW部隊は壊滅といっているほど打撃を受け、いよいよ指揮官であるオルガの目の前にまで迫って来た。

カイト「チツ射撃では埒が空かない、近接戦で！」

カイトも近接戦闘に移行し多機能型可変式突撃銃『ノワール』に装備された刃『デイモン』でグレイズを切りつける。奮戦してはいるが数の差で押されつつある。

ビスケット「オルガ！撤退しよう！もうすぐそこにグレイズが迫ってるよ！」

オルガ「冗談じゃねえ！俺は……俺達は行くんだよ！ここじゃない、どこかにそうだろ？ミカア!!」

オルガの叫びに応えるように地面が唸りを上げそこから1機のMSが姿を現す。全身ボロボロで所々装甲は剥がれてはいるがかつて《厄災戦争》と呼ばれる大きな戦いを終結させた伝説のガンダムフレームの姿が確かにそこにはあった。相棒の遅すぎる登場に苦笑いしながらもオルガの顔には確かに笑みがこぼれていた。

—————

《戦闘会話 三日月初戦闘》

三日月「お前の名前、バルバトスっていうのか、まあいいやとりあえず……消えろよお前ら」

《戦闘会話 ジヨウvsグレイズ》

ジヨウ「さつきはよくもやってくれやがったな！借りはキツチリと

返させてもらうぜ、この獣魔でなあ！」

《戦闘会話 レニーvsグレイズ》

レニー「射撃が効かないなら大輪剣で！くらいなさい！」

《戦闘会話 マイクvsグレイズ》

マイク「飛影が数を減らしてくれた今なら砲撃が撃てる！当たってくれよ！」

《戦闘会話 カイトvsグレイズ》

カイト「ガンダムフレーム……こんなものが出てくるとは……さてクライアントに自分を売り込むためにもう一仕事するか、切り裂け！デイモン・ブレード！」

—————

三日月の駆るガンダムバルバトスが現れた事により形成は逆転した。バルバトスの戦い方は圧巻の一言で巨大なメイスを振り回しグレイズを薙ぎ倒していった。戦況が傾くやザ・ブーム軍とギャラルホルンは撤退しひとまずこの戦いは終わりを迎えた。状況を確かめるためにオルガはエルシヤンク一行とカイトに通信を入れCGSへと来てもらう事にした。

オルガ「じゃああんたらは異星人だったのか!？」

イルボラ「貴様、口の聞き方に気をつけるよ」

ロミナ「いいのですイルボラ、そのとおり私達は遠い星ラドリオ星から地球に伝わる忍者の伝説を求めてやってきました、そしてこの火星でジョウ達に出会い協力して頂いているのです」

ビスケット「それなら僕達もちょうど仕事でこれから地球に向かう所だし協力し合いませんか？」

オルガ「おいビスケット、勝手には……」

そう言っただけと視線をクーデリアへと向けるオルガ。

クーデリア「私は構いません、カイトさんも構いませんか？」

カイト「構うも何も……依頼主が決めた事ですから……」

ジョウ「じゃあ決まりだな！俺はジョウ・マヤ、黒獅子のパイロットをやってるぜ」

レニー「レニー・アイよ、よろしく鳳雷鷹のパイロットをしてるわ」

マイク「マイク・コイル、爆竜のパイロットだよ」

ロミナ「ロミナ・ラドリオです、皆さんよろしくお願いします」

オルガ「あー、とりあえず俺がオルガ・イツカで横のでかいのがビ
スケット・グリフォンだ、あとMSに乗ってた三日月とか……うちは
大所帯だからな……追々紹介する」

クーデリア「クーデリア・藍邦バーンスタインです地球までの間よ
ろしくお願いします」

カイト「カイト・ハザマ、フリーの傭兵だよろしく頼む」

こうして彼等は青き星を目指す旅は始まる。それがどんなに困難
な事になるか彼等は知る由もなかった。